

あわじびえ

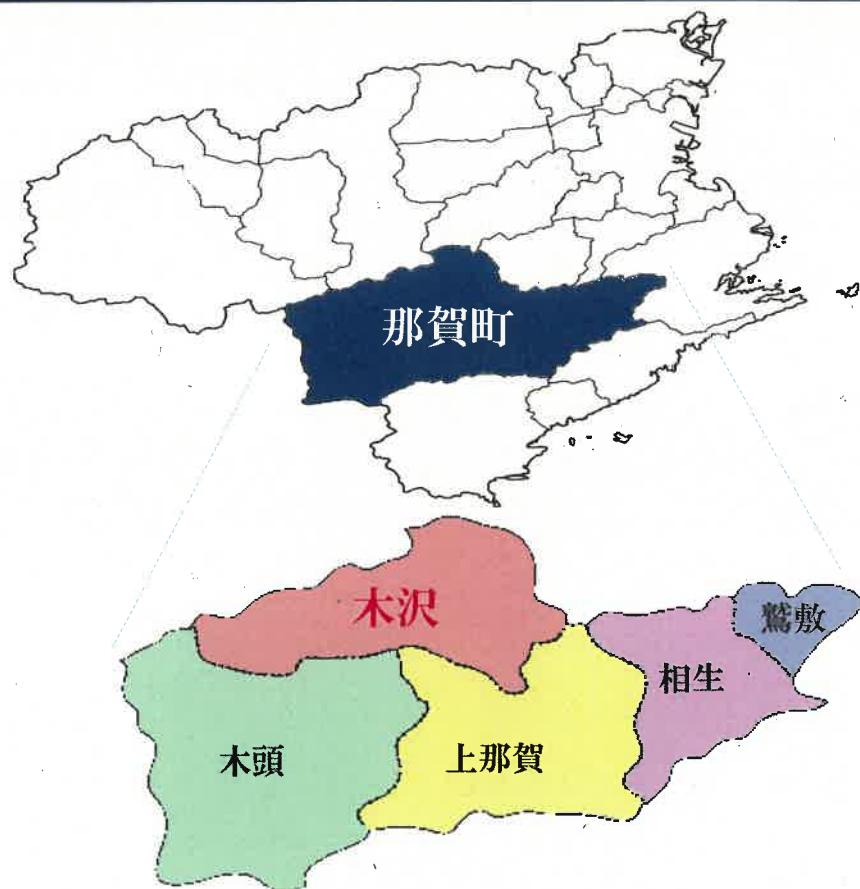
# 「阿波地美栄」普及への取組み

徳島県 四季美谷温泉 中田 雅之



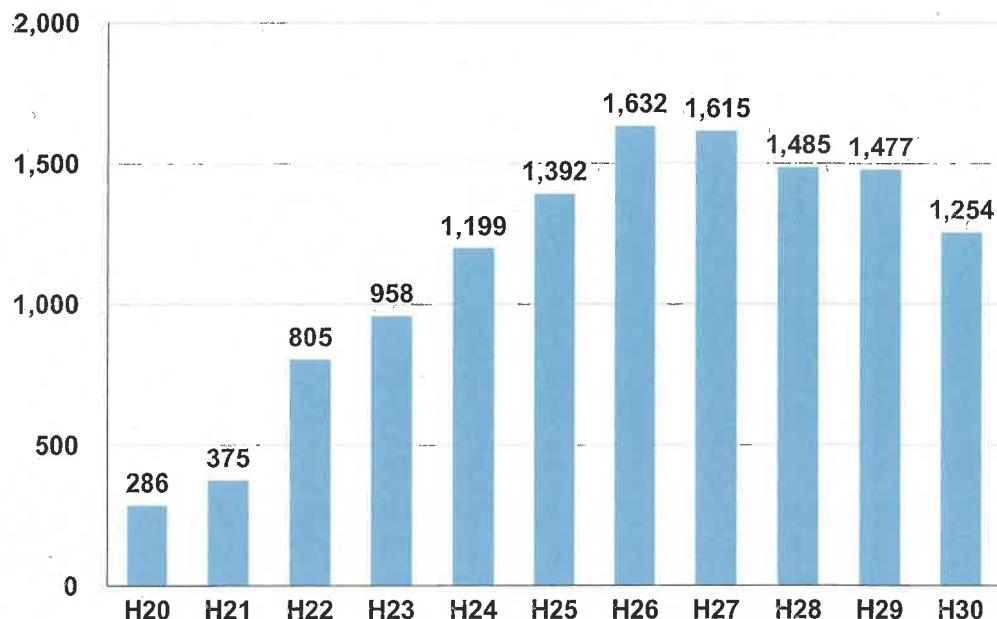
四季美谷温泉全景

## 那賀町の概要



# 那賀町での有害鳥獣捕獲数の推移(シカ)

- ・ 那賀町では、平成22年度から有害鳥獣捕獲によるシカの駆除頭数が増加
- ・ 平成24年度以降、1,000頭を超えて駆除を実施



## 略歴

- ・昭和54年～ 関西の日本料理店で和食の修業
- ・平成4年～ 徳島県 月ヶ谷温泉料理長  
(鹿肉、猪肉を使用した料理を取り入れる)
- ・平成25年 株式会社四季美谷温泉 料理長
- ・平成26年 四国ジビエ連携 理事
- ・平成30年 木沢シカ肉等加工施設 施設管理者  
(狩猟から解体、加工と調理、販売までを一括管理)
- ・平成30年 阿波地美栄推進協議会 会長
- ・平成31年 株式会社四季美谷温泉 代表取締役社長(兼)
- ・令和元年 NPO法人獸肉加工施設連絡協議会 理事

# 捕獲鳥獣の利活用

木沢シカ肉等加工施設の施設管理者として、年間約140頭の鹿をジビエとして利活用



木沢シカ肉等  
加工施設内



ジビエジュニアの導入  
<平成30年>



# 和食的発想のジビエ料理の開発

四季美谷温泉では、20種類以上の定食、単品ジビエを提供  
現在は宿泊会席や加工品、イベントを含めると  
40～50種類のメニューを提供



鹿重(竜田揚げ)



ジビエ遊山箱弁当

## <鹿肉加工品の開発、販売>



鹿サラミ



鹿スジ煮込み丼



これしか(鹿肉のからあげ)

# 四季美谷温泉での鹿肉料理の工夫

1. 柔らかい鹿肉
2. 臭いがない鹿肉
3. リーズナブルな価格  
(ローカルジビエ)
4. 日本人の味覚に合うジビエ  
(和食からの発想)
5. ここにしかないジビエ  
(ヨーロッパのジビエでないマタギのジビエ)

## <柔らかい調理のポイント>

- ・ 加熱温度、時間の工夫  
(低温加熱、短時間加熱、長時間加熱、間接加熱 余熱調理)
- ・ 赤身肉を柔らかくする成分のものに漬け込み、性質を変える
- ・ 肉の線維に対して逆に切る



## <獣臭を感じない調理のポイント>

- ・ 赤身肉を塩水に漬け臭みを取る
- ・ ハーブやニンニクなど香りのある食材と合わせる
- ・ アルコールで臭みを取る



# ジビエ料理普及活動<鹿肉料理の実演講習会>

## <一般家庭向け講習会>



## <ホテル料理人向け講習会>



## <地元大学生へのジビエ講習>



## <那賀高校生へのジビエ出前授業>



# 県内イベント等による消費拡大

## ジビエフェスタの開催(那賀町木沢)

四季美谷温泉が主催し、各種ジビエ料理の提供や鳥獣被害とその対策・取組みについてのパネルを展示。



ジビエバイキング



## <イベントへの参加>



## 地元CATVや新聞でのジビエ料理をアピール



**シカ肉を使った新商品を開発**

四季美谷温泉  
(那賀町神谷)

シカ肉三昧定食

おいしくシビエ

4種の料理で丸ごと

歩あなたシカ肉料理が楽しめる  
シカ肉三昧定食

2014年(平成26年)1月号

新商品を開発

四季美谷温泉  
(那賀町神谷)

シカ肉を使った新商品開発  
が成功。みやびの山  
「シカ肉三昧定食」と「シカ肉  
タマネギ味噌」が誕生。

「シカ肉三昧定食」は、シカ肉を主な材料として、シカ肉の煮込み、シカ肉の炒め物、シカ肉の味噌炒めなど、3種類の料理で構成されています。シカ肉の風味を引き出すために、香辛料や野菜と一緒に煮込まれています。

「シカ肉タマネギ味噌」は、シカ肉を主な材料として、シカ肉の味噌炒めと一緒に、タマネギと一緒に炒められています。シカ肉の風味を引き出すために、香辛料や野菜と一緒に炒められています。

この新商品は、地元の農家や漁師などの生産者たちが協力して開発されたものです。地元の資源を活用して、地域の経済活性化につなげようという想いが込められています。

## 阿波地美栄推進協議会での活動

### 目的

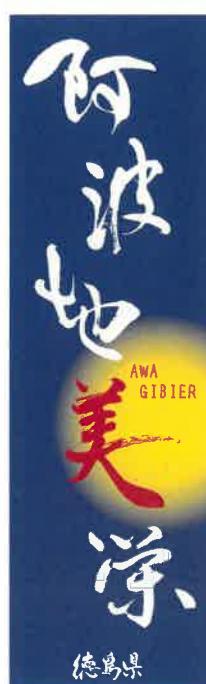
国の「ジビエ倍増モデル事業」を実施することで、阿波地美栄およびその加工品の安定供給と消費拡大を推進。

### 取組内容

- ・捕獲個体の利活用促進と安定供給
- ・安全安心な供給体制の整備
- ・ジビエ関係者間の連携強化、戦略的なマーケティング
- ・ジビエを知って・食べて・活用する機会の増大

### 構成員

ジビエ処理加工施設、徳島県内の大学  
徳島県獣友会、流通関係者、行政機関  
等、22団体



# 第5回 日本ジビエサミット in 徳島

ジビエに関する最新情報や技術、  
全国の優良事例を学ぶため、全国から関係者が集い、  
課題解決に向けて意見を交換

会期 平成31年1月24日(木)～26日(土)

参加者 約2,000名(累計)



## 今後の取組みと目標

- ・有害鳥獣の解体、加工、調理、販売を通してのジビエ普及活動により、雇用・交流など過疎地の活性化に貢献する。
- ・今後、さらなるジビエの可能性を探ることにより、一料理人の取組みが、オール徳島へ波及し、地方創生の一端を担う事業へと繋げる。